

# 2005年度第1四半期 決算説明資料

2005年8月5日

川崎汽船株式会社

# 1. 2005年度第1四半期決算概要

(単位:億円)

		2005年度第1Q実績	第1Q公表	増減額	増減率	2004年度第1Q実績	増減額
売上高	連結	2,211	2,150	61	+3%	1,990	221
	単体	1,762	1,700	62	+4%	1,610	152
営業利益	連結	240	210	30	+14%	266	-26
	単体	166	140	26	+19%	209	-43
経常利益	連結	241	210	31	+15%	278	-37
	単体	176	150	26	+17%	224	-48
当期純利益	連結	155	140	15	+11%	172	-17
	単体	109	90	19	+21%	138	-29
為替レート	平均	¥107.28	¥105	¥2安	-2%	¥108.71	¥1高
バンカー価格	平均	\$247.52	\$250	\$2安	-1%	\$180.40	\$67高

【為替変動:年間±12.5億円/1円、バンカー変動:年間±2.7億円/1\$】

参考:単体燃料費実績:234億円(+68億円)、消費トン数96.4万トン(+6.4万トン)

## 2. 部門別業績動向 (コンテナ船)

### コンテナ船: 当初見込みを上回る利益 (93億円)

- 営業規模拡大  
北米北西岸、東岸サービス増強が寄与  
積高: 66.1万TEU (略、当初見込通り、前年同期比 + 7.4%)
- 運賃修復  
運賃率修復 (アジア航路・大西洋航路)
- コスト削減効果  
傭船料高、燃料油価格上昇による影響を軽減

## 3. 部門別業績動向 (不定期専用船)

### 不定期専用船: 当初見込み上回る利益

- 不定期船: 新造船竣工で営業規模拡大  
運賃市況は修正局面、市況下落前に貨物確保  
(稼動延<sup>ト</sup>前年同期比35.6百万<sup>ト</sup> 37.6百万<sup>ト</sup>+5.5%)
- 自動車船: 輸送量増加、効率配船による運航コスト削減  
(積高前年同期比48.8万台 52.7万台 +7.9%)  
中南米・カリブ、豪州、中近東向け (+9.1%)  
三国間航路: 大西洋、タイ・豪州 (+37.2%)

## 4.部門別業績動向(エネルギー-資源輸送)

### エネルギー-資源輸送:安定収益確保

- 液化ガス運搬船:各プロジェクト共順調に進捗  
5月にラスガス 向け新造船1隻竣工
- 電力炭:基本船隊15隻安定稼働、滞船緩和、効率配船  
(積高285.7万トﾝ 311.2万トﾝ+8.9%増)
- 油槽船:一時的に軟化したタンカー市況  
米国、中国の堅調な石油需要 市況回復基調  
(稼働延トﾝ676.3万トﾝ 745.0万トﾝ+10.0%増)

# 5. 2005年度業績予想

(単位:億円)

		第1Q 実績	2005F 上期予想	2004F 上期実績	2005F 通期予想	2004年度 通期実績	通期 増減額	通期 増減率
売上高	連結	2,211	4,500	4,136	9,000	8,284	+716	+8.6%
	単体	1,762	3,600	3,320	7,100	6,587	+513	+7.8%
営業利益	連結	240	500	603	1,050	1,081	-31	-2.9%
	単体	166	370	483	770	853	-83	-9.7%
経常利益	連結	241	500	619	1,050	1,072	-22	-2.1%
	単体	176	370	500	780	869	-89	-10.2%
当期純利益	連結	155	340	335	690	599	+91	+15.2%
	単体	109	230	272	480	490	-10	-2.0%
配当	単体	-	9円	7.5円	18円	16.5円	+1.5円	+9.1%
為替レート	平均	¥107	¥109	¥109.43	¥110	¥107.46	¥2.54安	2.4%安
バンカー価格	平均	\$248	\$255	\$184.24	\$258	\$191.71	+ \$73.3	38.2%高

【連結】為替変動:年間±12.5億円/1円、バンカー変動:年間±2.7億円/1\$

【単体】為替変動:年間±11.5億円/1円、バンカー変動:年間±2.6億円/1\$、消費量420万ト<sup>6</sup>

## 6. 2005年度業績予想の要点

- 上期の見通しは期首公表と変わらず  
 第1四半期：期首公表比31億円上振れ

第2四半期：

改善要因 円安¥105 ¥110：+16億円

悪化要因 燃料油価格\$230 \$262： 22億円

市況悪化： 20億円

- 下期の見通しは期首公表と変わらず

改善要因 円安¥105 ¥110：+32億円

コスト削減 +29億円

悪化要因 燃料油価格\$220 \$260： 54億円

# 7. 船隊整備計画ならびに主要財務指標

	2004年度	2005年度竣工予定船		
		自社・仕組	備船	計
コンテナ船	5隻	2隻	2隻	4隻
ケープサイズバルカー	3隻	4隻	5隻	9隻
パナマックス・ハンディバルカー	2隻	4隻	3隻	6隻
自動車船	3隻	0隻	8隻	8隻
VLCC・アフラマックスタンカー	3隻	0隻	1隻	1隻
LNG船	2隻	4隻	0隻	4隻
合計	18隻	14隻	19隻	33隻

	2004年度 通期実績	2005年度 通期見込
営業 C F (減価償却額)	894億円 (246億円)	780億円 (254億円)
投資 C F	344億円	700億円
フリー C F	550億円	80億円
投資額 船舶関連 その他 資産処分(注)	344億円 547億円 189億円 392億円	700億円 730億円 240億円 270億円
株主資本	1813億円	2390億円
有利子負債残高	2392億円	2420億円
R O E	39.6%	33%
R O A	18.4%	16%
株主資本比率	30%	35%
D E R 比率	132%	101%



# 8. コスト削減運動

2005年度目標額:50億円

(単位:億円)

コストセーブ項目	2004年度	2005年度
船費・傭船料削減	9	5
貨物費削減	21	18
サービス改編・合理化効果	11	2
関係会社営業関連費用削減	12	10
一般管理費削減	4	5
機器費・空コン費削減	13	10
合計	70	50
(部門別内訳)		
コンテナ船事業部門(含む海外)	44	30
他事業部門(含む海外)	14	10
関係会社他	12	10